

作家 徐 京植さん 講演

「日本語文学は世界文学になれるのか？」

2018年7月4日（水）3限（13:20～14:50）

3352 教室（3号館低層棟 地上階）



NHK Eテレ「こころの時代」でノーベル賞作家スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ、ユダヤ人ジャーナリストのアミラ・ハス、パレスチナの弁護士ラジ・スラーニと対談し、文学、美術、音楽、政治、憲法、国家などについて発言し執筆し続けている作家・東京経済大学教授の徐京植（ソ・キョンシク）氏をお迎えして、お話をうかがいます。

【主な著作】『プリーモ・レーヴィへの旅』、『ディアスポラ紀行』、『在日朝鮮人ってどんなひと?』、『私の西洋音楽巡礼』、『フクシマを歩いて』、『越境画廊』、『日本リベラル派の頹落』ほか多数。

皆様の聴講を歓迎します。授業科目名「入門・外国文学」担当 大田美和

お問い合わせは m_ota@tamacc.chuo-u.ac.jp

